

2019年度(2020年3月期) 決算の概要

2020年5月15日



目 次

I. 2019年度(2020年3月期)決算の概要	
1. 損益状況	
(1) コア業務純益・実質業務純益	1
(2) 経常利益	2
(3) 当期純利益	3
2. 業務計数	
(1) 貸出金	4
(2) 預金等・預り資産	5
3. 不良債権	6
4. 自己資本比率	7
II. 2020年度(2021年3月期)業績予想.....	8

※本資料の前年同期比・増減率欄等の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。

I. 2019年度(2020年3月期)決算の概要

1. 損益状況

(1) コア業務純益・実質業務純益

○コア業務純益は、前年同期比6億37百万円減少し、26億63百万円。

資金利益や役員取引等利益が減少したほか、経費が増加したことなどにより、前年同期比で減益となった。

○実質業務純益は、前年同期比14億56百万円減少し、21億57百万円。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う市場の急変により減損損失(評価損)を計上するなど、国債等債券関係損益が減少し、前年同期比で減益となった。

(単位：百万円)

項目	2020年3月期 (A)	2019年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
コア業務純益	2,663	3,300	△ 637
実質業務純益	2,157	3,613	△ 1,456

コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益

実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額

= コア業務純益 + 国債等債券関係損益

【コア業務純益の減益要因】

(単位：百万円)

項目	2020年3月期 (A)	2019年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
資金利益	15,005	15,498	△ 493
役員取引等利益	614	677	△ 63
金融派生商品損益	△ 8	34	△ 42
経費	12,960	12,930	30

<参考> 資金利益の変動内訳

(単位：百万円)

項目	2020年3月期 (A)	2019年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
資金利益 ①+④+⑤	15,005	15,498	△ 493
預貸差利益 ① (②-③)	10,719	11,125	△ 406
貸出金利息 ②	11,156	11,631	△ 475
預金等利息(※) ③	437	506	△ 69
有価証券利息配当金 ④	4,215	4,294	△ 79
その他 ⑤	71	79	△ 8

(※) 預金等利息 = 預金利息 + 譲渡性預金利息

【実質業務純益の減益要因】

(単位：百万円)

項目	2020年3月期 (A)	2019年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
国債等債券関係損益	△ 506	313	△ 819

<参考> 国債等債券関係損益の変動内訳

(単位：百万円)

項目	2020年3月期 (A)	2019年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
国債等債券関係損益	△ 506	313	△ 819
うち国債等債券売却益	1,901	1,325	576
うち国債等債券償還損 (△)	1,412	855	557
うち国債等債券償却 (△)	924	-	924

(2) 経常利益

○経常利益は、前年同期比12億55百万円減少し、25億87百万円。

株式等関係損益の増加や睡眠預金払戻損失引当金繰入額の減少があったものの、実質与信関係費用の増加や実質業務純益の減少により、前年同期比で減益となった。

(単位：百万円)

項目	2020年3月期 (A)	2019年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
経常利益	2,587	3,842	△ 1,255

【経常利益の変動要因】

○主な増益要因

(単位：百万円)

項目	2020年3月期 (A)	2019年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
株式等関係損益	2,105	838	1,267
睡眠預金払戻損失引当金繰入額	-	333	△ 333

<参考>株式等関係損益の変動内訳

(単位：百万円)

項目	2020年3月期 (A)	2019年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
株式等関係損益 (①-②-③)	2,105	838	1,267
①株式等売却益	2,475	1,771	704
②株式等売却損 (△)	245	784	△ 539
③株式等償却 (△)	124	148	△ 24

○主な減益要因

(単位：百万円)

項目	2020年3月期 (A)	2019年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
実質与信関係費用	1,594	113	1,481
実質業務純益	2,157	3,613	△ 1,456

<参考>実質与信関係費用の変動内訳

(単位：百万円)

項目	2020年3月期 (A)	2019年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
実質与信関係費用 (①+②-③-④-⑤)	1,594	113	1,481
①一般貸倒引当金繰入額	233	-	233
②不良債権処理額	1,560	441	1,119
うち個別貸倒引当金繰入額	191	-	191
うち貸出金償却	1,353	437	916
うち偶発損失引当金繰入額	-	-	-
③貸倒引当金戻入益 (△)	-	87	△ 87
④偶発損失引当金戻入益 (△)	1	40	△ 39
⑤償却債権取立益 (△)	198	199	△ 1

(3) 当期純利益

○当期純利益は、前年同期比14億1百万円減少し、11億31百万円。

【2020年3月期の損益状況（単体）】

(単位：百万円)

項 目	2020年3月期 (A)	2019年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
業務粗利益	15,117	16,544	△ 1,427
コア業務粗利益	15,624	16,230	△ 606
経費	12,960	12,930	30
実質業務純益	2,157	3,613	△ 1,456
コア業務純益	2,663	3,300	△ 637
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	1,643	2,573	△ 930
業務純益	1,924	3,613	△ 1,689
経常利益	2,587	3,842	△ 1,255
(経常収益)	22,591	22,150	441
(経常費用)	20,004	18,307	1,697
特別損益	△ 325	△ 188	△ 137
税引前当期純利益	2,262	3,653	△ 1,391
税金費用	1,131	1,121	10
当期純利益	1,131	2,532	△ 1,401

コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券関係損益

コア業務純益＝業務純益－国債等債券関係損益＋一般貸倒引当金繰入額

＝コア業務粗利益－経費

2. 業務計数

(1) 貸出金

○貸出金残高は、前年同期比99億円(0.9%)増加し、1兆601億円。

住宅ローンを中心に個人向け貸出が増加したほか、地公体向け貸出が増加した。
事業者向け貸出の減少は、新潟県外の事業者向け貸出の減少による。

(単位：億円)

項目	2020年3月末 (A)	2019年3月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
貸出金残高	10,601	10,502	99	0.9%
事業者向け貸出	6,044	6,101	△ 57	△ 0.9%
新潟県内	3,626	3,566	60	1.6%
新潟県外	2,418	2,535	△ 117	△ 4.6%
個人向け貸出(消費者ローン)	3,149	3,024	125	4.1%
うち住宅ローン	2,931	2,809	122	4.3%
地公体向け貸出	1,406	1,375	31	2.2%

(2) 預金等・預り資産

○預金等残高は、前年同期比98億円(0.7%)減少し、1兆3,630億円
法人預金は増加したが、個人預金および公金預金が減少した。

○預り資産残高は、前年同期比30億円(2.2%)減少し、1,303億円。
マーケット環境により投資信託および公共債が減少したが、生命保険が増加した。

(単位：億円)

項目	2020年3月末 (A)	2019年3月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
預金等残高(※)	13,630	13,728	△ 98	△ 0.7 %
うち個人	9,627	9,653	△ 26	△ 0.2 %
うち法人	3,447	3,270	177	5.4 %
うち公金	493	745	△ 252	△ 33.8 %

(※) 預金等残高 = 預金残高 + 譲渡性預金残高

(単位：億円)

項目	2020年3月末 (A)	2019年3月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
預り資産残高	1,303	1,333	△ 30	△ 2.2 %
投資信託	344	401	△ 57	△ 14.2 %
公共債	127	145	△ 18	△ 12.4 %
生命保険	831	785	46	5.8 %

3. 不良債権

○不良債権額(金融再生法)は、前年同期比11億円減少し、187億円。

経営改善支援に積極的に取り組んだ結果、危険債権が5億円減少した。

○不良債権比率は、前年同期比0.13ポイント低下し、1.74%。

(単位：億円)

項目		2020年3月末 (A)	2019年3月末 (B)	前年同期比 (A) - (B)
金融 再生 法 開 示 債 権	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	40	44	△ 4
	破綻先債権	5	5	0
	実質破綻先債権	34	39	△ 5
	危険債権	145	150	△ 5
	要管理債権	1	3	△ 2
	小計 (A)	187	198	△ 11
	正常債権	10,533	10,402	131
	債権額合計 (B)	10,720	10,600	120
不良債権比率 (A) / (B)	1.74 %	1.87 %	△ 0.13 <small>ポ イ ン ト</small>	

4. 自己資本比率

○自己資本比率は、単体が前年同期比で0.07ポイント低下し、8.83%、連結が同0.08ポイント低下し、8.84%。

自己資本額(分子)は、利益の積上げなどにより増加した。

リスク・アセット(分母)は、積極的な営業推進による貸出金の増加などにより増加した。

○単体・連結のいずれも規制値(4%)を大きく上回っており、十分な水準。

(単位：億円)

項 目		2020年3月末 (A)	2019年3月末 (B)	前年同期比 (A) - (B)
単 体	自己資本比率	8.83 %	8.90 %	△ 0.07 <small>ポ イ ン ト</small>
	自己資本額	705	703	2
	リスク・アセット	7,988	7,902	86
連 結	自己資本比率	8.84 %	8.92 %	△ 0.08 <small>ポ イ ン ト</small>
	自己資本額	708	707	1
	リスク・アセット	8,012	7,924	88

II. 2020年度(2021年3月期)業績予想

(単位：百万円)

項 目	通期 (2021年3月期)	
	連 結	う ち 単 体
経 常 収 益	18,830	18,460
経 常 利 益	2,490	2,430
当 期 純 利 益	1,430	1,410

※1. 連結の当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益であります。

※2. 新型コロナウイルスの感染拡大の影響につきましては、算定が極めて困難なことから、上記業績予想には織り込んでおりません。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。